

一、一被狀況 記

本争議ハ十月以降數度ノ労資會見モ空シク工場主深見治三郎ハ依然所在ヲ稍晦シ居リ争議ハ徒ニ遷延スルヲ以テ當廉ニ於テ解決工場主ニハ争議團側ノ窮狀ヲ知ラシメ争議團側ニモ徒ニ解雇交渉ヲ主張スルコトナク一途解決ニツキ交渉ヲ進ムヘキ旨ヲ懇諭セルニ両者共之ヲ諒トセルヲ以テ本月二十四日ヨリ當廉調停課ニ於テ會見セシメ居レルカ其狀況次記ノ通

二、從業員側ノ狀況

從業員ハ從來通工場内ニ約六七十名籠城シ悲壯ナル決意ノ下ニ團結ヲ強固ニシ工場更生ノ為之カ機策ニ奮心シツ、一日モ早ク圓滿解決センコトヲ希望シ事業主側トノ交渉ニ関シテ王予警署署ニ解決方ヲ陳情スル等解決ニ進展シツ、アル模様ナリ一方工場内ニ於ケル從業員ハ防寒ノ設備不完全ノ為罹病者

約十名内外ヲ出シタル為救護班ヲ設ケ看護ニ當ラシメツ、アルニ資金難ノ為費、如クナラサル狀況ニヤリ

三、會見狀況

日時 十一月二十四日午後二時—今四十分

場所 當廉調停課

出席者 事業主側 深見治三郎 大熊 豊

從業員側 田中謙一 外 九名

ニシテ事業主側ヨリ「本日、會見ハ予備的交渉ニ止メ根本問題ハ明日ヨリ、會見ニ譲リ度キ旨ヲ述ヘ工場更生ノ第一案トシテ左ノ案ヲ提出セリ

一、工場更生ノ方法 一ヶ月ノ生産高トシテ

人生地製造機ノ 三名

六加 上 一萬圓位

但現在ノ狀勢ヲ基準トセルモノニ付畜業繼續後ニ於テハ